

船舶事故等調査報告書

平成24年3月29日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2011那第49号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成23年11月16日 02時00分ごろ	
発生場所	<p>沖縄県うるま市石川東恩納地区の海岸 うるま市所在の金武中城港電源開発シーバース灯から真方位230° 1,796m付近 (概位 北緯26°24.8′ 東経127°50.3′)</p>	
事故等調査の経過	<p>平成23年11月21日、本事故の調査を担当する主管調査官（那覇事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。</p>	
<p>事実情報</p> <p>船種船名、総トン数</p> <p>船舶番号、船舶所有者等</p>	<p>漁船 勝津丸、4.0トン ON3-71236（漁船登録番号）、個人所有</p>	
乗組員等に関する情報	船長、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定	
死傷者等	なし	
損傷	舵、プロペラ折損、船底部破口多数、擦過傷多数	
事故等の経過	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、うるま市伊計島東方沖でいか釣り漁を終え、船首が約0.80m、船尾が約0.85mの喫水で金武中城港石川地区に向け、伊計島西北西沖を約7ノットの速力で自動操舵により西進中、船長が、操舵室の椅子に座って見張りを行っていたところ、居眠りに陥り、平成23年11月16日02時00分ごろ石川東恩納地区の海岸に乗り揚げた。</p> <p>船長は、乗揚の衝撃で目を覚まし、自力で海岸に泳ぎ着き、漁業協同組合に救助を求めた。</p> <p>本船は、後日、サルベージ船によって吊り上げられ、金武中城港石川地区まで運ばれた。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 曇り、風向 東、風力 7 海象：波高 2m、潮汐 下げ潮の末期</p>	
その他の事項	<p>船長は、食事の後に眠気を感じていたが、時化していたので目を覚ますために操舵室から出ることができず、金武中城港中央部に設置された灯浮標を通過した後、機関を止めて仮眠をとるつもりであったが、その前に居眠りに陥った。</p> <p>本船のレーダーは、故障中であったため、接近警報をセットすることができなかった。</p> <p>船長は、救命胴衣を着用していなかった。</p>	
分析	乗組員等の関与	あり
	船体・機関等の関与	なし
	気象・海象の関与	なし
	判明した事項の解析	<p>本船は、伊計島西北西沖を自動操舵により西進中、船長が、椅子に腰を掛けた状態で見張りを行っていたところ、居眠りに陥ったことから、石川</p>

	東恩納地区の海岸に向けて航行し、同海岸に乗り揚げたものと考えられる。
原因	本事故は、夜間、本船が、伊計島西北西沖を西進中、船長が居眠りに陥ったため、石川東恩納地区の海岸に向けて航行し、同海岸に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。